



大河原町 議会だより

第134号 平成27年2月1日

議会報告会	②③
議案審議(11月・12月会議)	④⑤
町政への提言	⑥
議決責任の明確化	⑱
議会傍聴で学ぶ	⑳
常任委員会視察研修	㉒
その後どうなったあの提言	㉓

団子さしのつどい
(金ヶ瀬カトリック保育園)

とうございしました

「子育て支援について」を意見交換テーマとして

議会報告会(11月21日・22日)を開催しました

〔西桜集会所〕

要望 体育館裏、エンパイヤ隣の雑草地が火事になったら大変なので条例対応できるようにしてほしい。

要望 防災マップを町全体だけではなく行政区ごとにつくってほしい。

問 デマンドタクシーが2000万円赤字と聞いたが、



▲西桜集会所

福祉としてやる以上トントんにしないと意味がないのでは。

要望 児童クラブ負担金について、近隣町村の状況を把握してほしい。議員と職員が勉強して議論してほしい。

問 デイサービスの指定管理者を一団体だけにするのはなく、なぜ公募しないのか。

〔金ヶ瀬中央集会所〕

問 保育所によつては定員割れしている、0歳待機児童を受け入れられない理由は、

問 児童クラブの対象児童は国は1〜6年だが、町は対応しないと聞いた、建物もまだ無い。

要望 児童クラブの負担金



▲金ヶ瀬中央集会所

根工業団地あたりと聞く。地権者の動向はどうか。

〔世代交流いきいきプラザ〕

問 無認可の保育所の状況を把握しているのか。

要望 待機児童を解消してほしい。

問 秋田市の子育て支援は素晴らしいので、是非参考にしていただきたい。

問 児童クラブ利用負担金が増えるという話を聞いたがどうなのか。他市町の利用負担金の状況はどうなっているのか。

意見 議会だより「議決責任の明確化」がとも良い。

意見 絵本のへの閉鎖は残念。必要性を理解してほしい。

いでパートを切り上げて帰つてこようかという母親同士の話になっている、子育て世代の親には本当に痛い問題となっているので是非検討してほしい。

問 水素エネルギー活用が町長の計画であると聞くが、町のメリットは何か。候補地としてプラントを川

ご意見、ご要望ありがとうございます

意見 いきいきプラザの絵本コーナーを独立させるべき。テーブルは皆で交流できるような場所を期待したが、実際は飲食禁止で意味がない。

意見 町民学園のポイント制はいかがなものか。必要ない、商品券は無駄。

意見 議会のネット中継は質問者や答弁者のみが映っているが、全体も見えるとより良い。

【丑越集会所】
要望 議会報告会の案内が



▲丑越集会所

いつ広報に載ったのかわからなかった。もつとわかりやすく、チラシ等工夫をしてほしい。

意見 役場窓口に行くとき対が事務的で印象が良くなかった。わからないから聞きに行っているので、専門用語を言われても理解できない。親身になってほしい。来庁者には挨拶してほしい。職員によって対応に差がある。

要望 町では何を行っているのか、また大原に住みたくなるような目でわかるPRが必要ではないか。

要望 東部運動場の駐車場、道路が狭いのでどうにかならないか。

要望 不自由な高齢者には支援がされているが、健康な高齢者には恩恵が少なく、何かしらの支援を望む。

要望 活動13年目に入った元気クラブは町から一切の

支援を受けていない。高齢化が進んでいて体育館へ行くのも大変になってきたので、対策を考えてほしい。

問 町民学園はどのような背景で始まったのか。

意見 ポイントは何処で扱うのか、認定は誰がどこで行うのかが不透明だ。



▲住吉研修交流センター

【住吉研修交流センター】
要望 報告会の資料がわかりにくい。もつと参加しやすい報告会にしてほしい。

意見 側溝汚泥がやつと上げられるようになったが、

3年分たまっているので指定日1日だけでは厳しい。有蓋側溝も全て繋がっている汚泥もたまっていくはずなので、早期に除去してもらわないと流れが遮られてしまうと心配している。

問 老人施設の誘致などは進展しているか。

要望 高齢者問題を進展させてほしい。

要望 南小学区から大中への自転車通学が認められるエリアの線引きに公平性が確保されていない。不公平が出ないよう明確な基準で判定してほしい。

意見 子どもが急病の際預かってくれるところが無く、町の対応が悪かった。

要望 4、5年前に先に入所を申し込んでいる待機児童がいるので入れないと言われた。職員にはもつと親身になって対応してほしい。

「敬老金支給条例」の一部改正を 修正可決

12月定例会において町執行部より「敬老金支給条例の一部改正」(敬老祝金の削減)についての提案があった。(左図・現行・本案)

しかし、堀江一男議員より修正動議(左図・修正案)が提出され、9対5の賛成多数で修正案が可決された。

【提案理由】

堀江 一男

町民は、消費税アップ、物価の高騰等の一方で年金が下がる中、厳しい生活を強いられている。このような時こそ福祉の充実が必要である。敬老金はお年寄りにとって大変楽しみにしているものであり、せめて減額になっても88歳・99歳の支給をすべきである。

【討論】

【本案反対討論】

万波 孝子

財政改革と対象者増を改正の理由としているが、とんでもない。何故、高齢者の社会的貢献への感謝と敬老の意を表す事業にメスを入れるのか納得できない。改正は福祉の後退と言える。現行通りにすべきである。

丸山 勝利

長年、大河原町や地域社会に対し、貢献されてきた方に対して単に削りやすいところから削るとしか思えない。敬老祝金は改正のたびに減額され、これでは長生きすることが悪いのか、ようにとらえられてしまう。

【修正案反対討論】

万波 孝子

高齢者の社会的貢献への感謝と敬老の意を表す事業を見直す点では執行部と同じ姿勢であり、修正案についても福祉の後退につながるもので認めることはできない。

佐藤 貴久

敬老祝い金の対象者は、日本を創りあげたヒーロー、ヒロインの方々。これを削減し、財源確保を図るならば、重点プロジェクト事業の方向性を縮減する方が町民の理解が得られるのではないか。修正案は年間260万円の削減にすぎない。

丸山 勝利

人生の長生きのひとつの目標でもある100歳に対しても減額することは健康長寿に対する意識の低下につながるかねない。財政状況が厳しいのはわかるが、安易に削りやすいところから削るのではなく、無駄や効率化を実践してから削るべきで、今早急にやるべきものではない。

【修正案賛成討論】

岡崎 隆

今後対象者が増加し、財政を圧迫することは明白だが、人生の節目節目での長寿への感謝は何よりの喜びであり、その先の人生を更に元気で生きていく励みになっっている。修正案は人生の中で一番多くの方が祝われる米寿を復活させ、2年後の卒寿の祝い金を同額に引き下げる違和感の薄いものへと修正されている。そしてこの減額は今後30年間で約7000万円と試算され、この削減分は今後の子育て支援等、次世代のために役立つ施策を実現するための政策提言をしていくという認識は議員として当然のことではないか。

※修正動議とは

本案(町提案)の内容の変更を求めて予定議案以外の議題を議員が提出すること

● 現行	
80歳	5,000円
88歳	10,000円
90歳	20,000円
99歳	30,000円
100歳	300,000円
● 本案(町提案)	
80歳	5,000円
88歳	廃止
90歳	20,000円
99歳	廃止
100歳	200,000円
● 修正案(可決)	
80歳	5,000円
88歳	10,000円
90歳	10,000円
99歳	20,000円
100歳	200,000円

指定管理者4件を可決

〔大河原町体育施設〕

▽指定する団体「特定非営利団体 大河原町スポーツ振興アカデミー」

平成20年から7年間大河原町総合体育館、テニスコート、多目的広場の管理運営を行ってきた。

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの1年間の再契約を行うことを全会一致で可決した。

契約年数1年間の理由としては、「利用者の方々への対応等について改善が必要と判断した。本来は3年の指定期間であるが、今回は1年の契約期間を設定した。」なお、1年後の再契約に関しては、「今回、アカデミーから職員配置の刷新や処遇の改善等の考え方が示された。これらの状況を見て、1年後に再度選定委員会に諮り、期間を3年にするのか、公募を行うのかも含めて選定する。」との説明であった。



▲総合体育館

〔大河原デイサービスふれあいホーム〕

▽指定する団体「社会福祉法人 常盤福祉会」

これまで3期9年間の実績から、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの1年間の再契約を行うことを全会一致で可決した。

契約年数1年間の理由として、「今後1年間かけて常盤福祉会へ譲渡を行う準備を進めていく」との説明がなされた。

〔福祉作業所さくら〕

▽指定する団体「社会福祉法人 大河原町社会福祉協議会」

当該作業所は町内に居住する義務教育を終了した障がいのある方が、日常生活習慣の確立、就労支援や自立支援、社会参加への意識を育てる場である。3期9年間の実績から平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間の再契約を行うことを全会一致で可決した。職員の処遇改善が要望され、今後十分社会福祉協議会と協議していく。

〔駅前コミュニケーションセンター及び立体駐車場〕

▽指定する団体「株まちづくりオーガ」

駅前ビル及び立体駐車場の管理業務を行っており、また、平成18年4月から9年間の実績により、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間の再契約を行うことを全会一致で可決した。

一般会計主な補正予算

収入

入湯税 △261万円
繰入金（後期高齢・国保） 935万円

繰越金 1092万円
東京電力福島第一原発事故賠償金 483万円

支出

障害福祉サービス費等 800万円
保育所運営費委託料 1831万円

生活センター維持費補助金 310万円
観光物産協会関係補助金 57万円

町営住宅修繕料等 334万円
私立幼稚園就園奨励費補助金 935万円

〔反対討論〕

万波 孝子

窓口業務は「公」の業務であり、正職員増で「公」の責任において対応すべきもの。「官から民へ」は自治体のスリム化で職員削減を一層推進するに他ならない。
※賛成多数で原案通り可決

第3回定例会

(11月会議)

平成26年11月26日

物品購入契約の締結

仙南夜間初期急患センター
医療機器（透視機能付イン
パーターX線撮影装置、F
PDシステム、超音波診断
装置他）
契約金額 2343・6万円

職員給与条例の改正

人事院勧告に伴う俸給表
水準の引き上げ（0・27%）
及び勤勉手当0・15月分の
引き上げ

※その他専決処分報告2
件、補正予算4件を原案通
り可決。

一般質問

町政への提言
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回12人の議員が行った。

万波 孝子 P⑦

- 4月から始まる子ども子育て支援制度とは
- 放課後児童クラブの利用料の引き上げ検討はやめて
- 「絵本のへや」は存続を
- 水素エネルギー活用やメガソーラー設置の動きは町民参画で(掲載外)

岡崎 隆 P⑧

- 婦人防火クラブの更なる充実を急げ
- 政策形成・政策決定はプロセスを重視(掲載外)

高橋 芳男 P⑨

- 中学校3年生へ予防接種助成を
- 胃がんリスク検診は採血で
- 急げイノシシ被害と安全対策

丸山 勝利 P⑩

- 公約をどのように思うのか

庄司 充 P⑪

- 一般質問とは何か
- 町の象徴白鳥の行くえ

大沼 忠弘 P⑫

- シンクタンクとしての基盤整備を
- 蔵王山噴火を想定した備えは
- 学校給食センターの新築は

堀江 一男 P⑬

- 町民税減税の代替えとして水道料の減額を
- 緊急雇用創出事業の今後の対応(掲載外)

須藤 慎 P⑭

- 蔵王山噴火を想定した取り組みを

佐藤 貴久 P⑮

- 教育環境と防犯教育に注力する

柁 和也 P⑯

- 消防団の充実強化(施設・備品の充実を)
- 子育て世代へのインフルエンザ予防接種助成を

山崎 剛 P⑰

- 地方創生への取り組みは
- 防犯カメラを設置すべき

佐久間克明 P⑱

- さくらっきーをPRに有効に活用すべき
- 水道料金等の徴収状況と対応は
- 町民学園の今後は



まん なみ たか こ
万波 孝子

問 4月から始まる子ども 子育て支援制度とは

答 待機児童の解消を図るため

保育・幼稚園、学童保育など子育て支援に係る新制度は様々な問題等を抱えており、保育関係者等からも疑問の声があがっている。



▲小規模保育施設はどう変わるのか

問 町長は新制度をどのよう
に受け止めているか。

町長 すべての家庭が安心して子育てできることを目的に待機児童の解消を図るための制度。

問 説明会での町民の反応
や意見は。保育関係者からは。

町長 特段の反応、意見はなく概ね受け入れられていると考える。

問 27年度の入所受付状況は。

町長 581名。一人でも多く保育サービスを受けられるように小規模保育事業を活用していく。

問 小規模保育事業は19人
以下で0歳から2歳児対
象。町の研修を修了した人
も従事できるが、安全面が

ら有資格者で対応すべき。
町長 検討させていただく。

放課後児童クラブ利用料の 引き上げ検討はやめて

問 放課後児童クラブの利
用料は現在月額3000円
でおやつと教材代のみ負担
となっている。町は来年度
から受益者負担を導入して
2倍以上の引き上げを検討
している。実施されれば利
用することが大きな負担と
なり、利用をあきらめざる
を得ない。他の方法を考え
なければ等、検討の段階で
既に保護者から悲痛な声が
出ている。町民の家計状況

は一層苦しくなっている中、
子育て支援を後退させず、
充実の姿勢こそ今、町がと
るべき態度でないか。引き
上げ検討は止めるべき。

町長 新制度により国から
公定価格が示されない場合
は2倍程度になると保護者
説明会で仮の説明をしたの
が一人歩きしたもの。今後、
多方面より幅広く調査、研
究を進めていく。

「絵本のへや」は存続を

問 議会は可決。尊重すべ
きではないか。絵本のへや
の代替はオーガの研修室、
催事場で本当にできるの
か。場所をただ与えればの
安易な考え方になつていな
いか。

町長 請願の結果は重く受
け止めている。オーガにあ
る多目的ホール等有効に活
用していく。

一 般 質 問

問 婦人防火クラブの 更なる充実を急げ

答 意義・役割を再認識し今後取り組む



おかざき 隆
岡崎

昭和57年4月23日に大河
原町婦人防火クラブが結成
されて以来、純粋なボラン



▲整列する婦人防火クラブ(消防演習)

識しているのか。

問 婦人とは成人女性すべ

ティア精神に溢れた女性たちの活動は常に家庭と地域を愛する心に支えられてきたから今日までがあると考える。組織率、活動全国一を誇る宮城県において大河原町はこの婦人防火クラブの意義・役割・活動についての理解はどうか。また今後重要性を増すこの組織に対してどのような支援が必要と認識しているのか。

一般質問

てを指すが、わが町の構成員は町内すべの成人女性であるのか。

町長 そのようにも理解できると考える。

問 それはおかしい。対象となる町内成人女性に聞いたがそのような認識はなかったが。

町長 実際に活動している方は代議員制度をとっており行政区等から名簿を提出されている方が現在の婦人防火クラブ員となっている。

問 一人でも多くの方にこの活動に参加していただきたいので成人女性の方がだれでも加入できるとの周知をしてはどうか。

町長 町広報等で今後周知に努める。

問 若い世代にも幅広い参加を促進するためにも、将

来的に婦人ではなく「女性防火クラブ」とするように働きかけてはどうか。

町長 時代に馴染まないという意見が多ければ将来的に検討していきたい。

問 魅力的な法被やユニフォーム(防寒着)の貸与や支給を検討してほしい。統一感は使命感の向上にも繋がり、冬場の防火運動に多大なご協力を頂く中で、割烹着では寒さを防ぐことはできないと考える。

町長 年間15万円の収入しか婦人防火クラブにはないので、町として支援を検討する。家庭防火の重要性を深く認識し今後は婦人防火クラブへの応援を町として真剣に取り組むことが消滅可能性都市の回避、無火災地域による人口増に繋がるものと認識する。



たか 高橋 芳男

問 中学校3年生へ 予防接種助成を

答 来年度に向けて準備をすすめている

問 季節型インフルエンザワクチン接種の助成拡大であります。毎年、各種予防接種の推進があり、既に65歳からは助成の対象となっているが、今回一歩進めて高校受験を控えた中学3年生への助成実施は。

町長 季節性インフルエンザの予防接種は、予防接種法では65歳以上の方及び、60〜64歳の内部障がい一級相当の障がい有する方が助成の対象となっております。中学3年生につきましては、任意接種となりますので、現在のところ助成は考えないが、来年度に向けて準備を進める。



一般質問



▲部活動に励む中学生

胃がんリスク検診は採血で

問 胃がんはピロリ菌による感染由来のがんでピロリ菌を除菌することで胃がんの発症を3分の1に減らせると言われている。そこで、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度を測定する胃がんリスク検診を実施する自治体が増えているが、本町でも実施すべきと考えるが如何か。

町長 胃がん検診は、国のがん予防重点健康教育及び「がん検診実施のための指針」により、科学的根拠に基づき推奨されているバリウムを用いたエックス線検査で実施しており、今後国の動向を見極めながら対応していく。

急げイノシシ被害と安全対策

問 被害と対象は。

町長 水稲、野菜、収穫前の水田の被害が大きい。

問 鳥獣捕獲と担い手は。

町長 11月末現在イノシシ捕獲31頭。現在は捕獲隊員12名。来年度2名増える。

問 被害農家へ防護柵、電気柵設置の助成は。

町長 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用、電気柵約4km設置。補助要件農家3戸以上共同設置。

問 自ら対策、普及啓蒙を

町長 各集落座談会等、千

ラシ配布にてPRを行っている。

問 専門家を招いての研修会を開催してはどうか。

町長 農家対象の研修会開催を考える。

問 イノシシ出没への児童、生徒安全対策は。

教育長 教員引率下校、保護者に一斉メール配信、注意喚起。

問 被害防止計画の作成は

町長 平成25年度大河原町鳥獣被害防止計画作成、計画期間平成27年度までの3年間。

問 公約をどう思うのか

答 実現こそ私の夢である



まる やま かつ とし
丸山 勝利

町長に就任して2年が過ぎ、人事、財政面で独自のカラーが出せる状況になった、町長選挙に掲げた公約、県議会議員を2期8年務め、県の予算、決算審議もしてきて、行政の財政に詳しい中で、詳細に掲げた公約の総括として、任期の半分が過ぎ、どのように思われているのか。

問 個人町民税の一律5%減税は就任して早々と撤回したが、公約に掲げるに至った経緯

と早々と撤回に至った経緯を今一度尋ねる。



▲わがまち ふるさと大河原

一般質問

町長 システム改修や低所得者に恩恵がないことが分かったので撤回した。

問 町長になるまで分らなかったのか。詳細に調査して公約を掲げるものではないか。

町長 分からなかった。そのことに関しては何度もお詫びしている。

問 高校卒業まで医療費無料化が県内でも2町村が実行、さらに2町が実行しようとしている。しかし当町が実行に至らないのはなぜか。

町長 今後財政状況を見て検討したい。

問 攻めの農業とあるが、進捗状況と大河原町の農業の今後の展望を問う。

町長 消費者のニーズに合った付加価値の高い農業に転換を検討していく。

問 国は子どもを産み育てやすい環境づくりを進めているが、児童館の保護者説明会で保護者の負担が増えるような説明がされたが生み育てやすい環境づくりに逆行しているのでは。

町長 現在よりも負担が増えないように検討したい。

問 公約に期限を切り掲げたからには、詳細な調査をされたと思うが、実行に至らないのはなぜか。それとも単に自分の夢に掲げたのか。

町長 公約の実現が私の夢である。



しょう し 庄司
みちる 充

問 一般質問とは何か

答 議員活動の重要な発言、提言の場

問 我々議員から一般質問された事項は、担当課でどのような議論がなされ、どのような結論を出しどのように処理されるのか。

町長 一般質問された事項は関係課と担当課で内容を確認し対応策等の方針を決定し、最終的には庁議の中で再度協議し、実現可能かどうかの議論を尽くしている。

問 一般質問の結果を報告もしくは公表してほしいがそれは可能か。

町長 方針としては、例えば「検討します」と回答し



▲本会議場一般質問

た事項については、一カ月以内、遅くても次の議会までに質問された議員本人に回答いたします。併せて

様々な要望等に対する回答等を含めた進行管理も実施することになっている。

町の象徴白鳥の行くえ

問 鳥インフルエンザ発生から野鳥に近づくのは危険、餌付けを禁止。このことから白鳥飛来数も減少、来観者もめつきり減った。鳥インフルエンザと白鳥飛来の因果関係をどのように捉えているか。

ら活動を休止しており、白鳥観察小屋の設置費用等の補助金も出していない。

問 町の象徴である白鳥を今後町はどう考えているか。

町長 町村合併30周年記念事業の一環として昭和61年に町村検証と共に定められたものであるから、町のシンボル「町鳥」として白鳥を大切にしていく方針に変わりはない。

町長 鳥インフルエンザウイルスは野生のカモ類を自然宿主として存在しており、腸管で増殖し、水中のフンを媒介して、白鳥に感染する。そのことから白鳥やカモに近づくのは危険なので控えてほしい。

問 白鳥を守る会の存続と併せて白鳥飛来の重要性を考えてほしい。

問 白鳥を守る会の現状と会への補助金はどうなっているのか。

町長 現在は鳥インフルエンザを考慮し餌付けを控えているが、白鳥飛来地の観光資源としての活用を考えていく。

町長 守る会は、鳥インフルエンザの影響と会員の高齢化のため、平成25年度か

一般質問

問 シンクタンクとしての 基盤整備を

答 職員による提案制度を整備



おおぬま ただひろ
大沼 忠弘

問 職員研修の内容と目的の重点は。

町長 階層別研修をはじめ、専門分野における実務研修が主。執務能力の向上や企画立案やまちづくり技法能力の習得についてである。

問 西原集会所の移築が具現化して行く中で地域住民の意見を集約していくワークショップ形式の手法を取り入れる考えはあるか。

町長 行政区と具体的な計画を煮詰めている段階にあることから、今後どのような形で決定していくか更に行政区と協議を進めていく。

問 定期的な政策提言が行



一般質問

われやすい環境整備はどうか考えるか。



▲仕事始め町長訓示

町長 本年11月に策定した「大河原町新・行財政改革大綱」の実施項目として「職員による提案制度」を今年度中に整備し来年度実施することとしている。

蔵王山噴火を想定した備えは

問 噴火が起きた場合の被害想定と防災体制は。

問 噴火があつた場合の降灰処理の対策は。

町長 宮城県が公表している「蔵王山火山防災マップ」…降灰分布図」等の情報による被害想定のみで、現在には特に蔵王山噴火に限った体制整備を整えている状況にはない。

町長 現時点では体制を整えていないことで具体的には答えられないが、各家庭からの排出された灰の回収と処分は町が実施する方針。

学校給食センターの新築は

問 現在の施設状況を安心・安全の観点からどのように評価しているか。

問 新センター整備の検討状況はどうか。

教育長 学校給食衛生管理基準に示された施設・設備に適合できない部分があり、機密性、耐震性の改善、特にポイラー設備の維持への不安等の課題があることから、早急な施設整備が必要と考えている。

教育長 建設検討委員会を立ち上げ、用地、施設、財政の部会でそれぞれ調査検討を行っている、年度内にはタイムスケジュールを含めた建設基本計画を作成したい。



ほり え かず お
堀江 一男

問 町民税減税の代替え策として 水道料の減額を

答 貴重な意見として検討する

問 新聞報道によると、仙南・仙塩広域水道（仙広水）の負担金が減額されると有ったが、いくら位減額されるのか。

町長 消費税抜きで2300万円ほどになる。

問 仙広水負担金減額の今後の見通しはどのようなになっているのか。

町長 概ね5年ごとに改正を行っており、これまで同様引き続き、定期的に見直しが図られる。

問 町長公約の町民税減税を期待する町民は多くいるものと考えます。そこで、前

にも提案している減税の代替え策として、全町民が等しく恩恵が受けられる水道料の一部減額をこのたびの仙広水負担金の減額を活用して行う考えはないか。

一般会計と企業会計と会計区分が異なることも、起債の残高も多くある事は承知しているが、町民にとつてはいずれの会計であつても合法的な手段で有れば、公共料金が少しでも下がることは喜ばしいと思う。せめて今年4月より上がった消費税3%分くらいの水道料の減額の考えはないか。

町長 貴重なご意見として受け止め、あらゆる面から検討を重ねてまいりたい。

問 町の全水道使用料の3%は、1688万4000円で仙広水負担金減額より600万円下回っており、これが実現されると一戸当たり、各家庭の水道使用量により異なるが、年間平均約1300円の負担減となる。僅か1300円と思われるかも知れないが、生活が厳しい状況の中では助か

る人も多いと思われる。これを3年間実行すれば、町長が公約した5000万円 of 減税額に相当するので、ぜひ実施していただきたいが、再度、町長の考えを示してほしい。

町長 大変貴重な提案として真摯に検討していく。



一般質問



▲上水道配水池(大高山)

問 蔵王山噴火を 想定した取り組みを

答 安全・安心のため真剣に取り組んでいく



す どう 須藤
しん 慎

仙台管区気象台によれば蔵王山では2013年1月以降、地震活動がやや活発な状況が継続していて、10月8日には御釜の湖面に白濁した部分が見られる等の様子も大きく報道された。2002年作成の宮城県蔵王火山防災マップ降灰分布図によれば上空の風向きにもよるが、大河原町も1cm〜10cmの降灰が到達する可能性がある範囲に示されている。(新たなハザードマップを現在国・県・関係市町で作成中・12月11日に約20km離れた地点で1cmの降灰が積もると示された。新聞報道より。御釜から大河原町と蔵王町の町境まで直線距離で約20kmちよつと)

一般質問

問 町としての認識はどうか。また対策会議等は実施したのか。更にとの程度の被害を想定しているのか。

町長 何らかの防災対策は必要と認識しているが、現在まで庁内で会議等は開催していない。今後新たなハザードマップ作成や蔵王火山防災協議会の動向を見ながら被害想定や町として必要な対策を検討していく。

問 噴火に限らず他の災害等においても、いち早く町民に知らせるためにも稗田・金ヶ瀬公民館・南小にある防災無線(屋外スピーカー)を手動式から自動で一斉に送信できるようにすべき。

総務課長 費用が3000万円程かかるため難しい。直接その場でアナウンスするということに対応したい。

問 噴火の際はJアラートを通じて携帯電話に緊急速報エリアメールで配信される、ということでのよいのか。

総務課長 緊急速報エリアメールで一斉に送信される。

灰でも道路や農作物へ大きな被害が予想される。町として危機管理意識を持つてほしい。

町長 安全・安心を確保するためにも真剣にこの問題に取り組んでいきたい。

問 小中学校において蔵王山の火山に関する防災教育も必要と考えるがどうか。

問 数ミリ・数センチの降

町長 火山活動の状況を見守りながら、いざという時に身を守るために必要な対処法を伝えたいと考えている。また蔵王での野外活動については、状況を見ながら安全を第一に考えて対応していきたい。



▲蔵王のお釜に発生した帯状の白濁(10月8日伴雅雄山形大学教授撮影)

※Jアラート(全国瞬時警報システム)

通信衛星を利用し、緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステム。



さとう たかひさ
佐藤 貴久

問 教育環境と防犯教育に注力せよ

答 徹底して犯罪機会をつぶしていく

(1)きめ細やかな学習環境を整備し、学力のポトムアップを図るべきだ。

問 小学校の教科書改訂により、学習指導計画の見直し、お昼寝タイムを組み入れてはどうか。

教育長 ユニークな対策だと考えます。今後、協議していく。

問 英語の教科化が、32年度に予定されている。小学校英語教育の現状はどうか。

教育長 国語の読解力強化に力を入れている。外国語活動は道半ばと考えている。

問 理科教育の目に見えない

い世界のウイジュアル活用十分に取組んでいるか。

教育長 現場からの要望があれば整備していく。

問 8月に公表された全国学直調査のアンケート結果分析と町独自の学力テスト結果分析で、改善事例はあるのか。

教育長 小学校は、ほぼ全国平均並み、中学校は、数学が知識、技能を活用する力において、課題がある。

(2)今般の子どもたちへの犯罪は、手口が巧妙化している。当町の防犯システムで対応できるか、再点検すべきではないか。



一般質問



▲学校入口の防犯カメラ

いる。家庭や地域では、防犯標語を基本に、郊外での安全を図る為の指導をしている。

問 小学校の不審者対策として、閉校は有効だと思いが、開かれた学校づくりをめざすべきではないか。

教育長 閉校は継続する。安全対策が実施された上で、開かれた学校に取り組んでいく。

問 「いかのおすし」では対応できないほど、犯罪が高度化している。対策は講じているのか。

教育長 危機に出会った時、自分を守る行動がとれるよう指導し、防犯教室でも、不審者対策を想定した訓練を行っている。

問 子どもたちへの防犯教育で、特に力を入れている内容とは何か。

教育長 教員全員が、危機管理意識を持つようにして

問 登下校における見まもり隊の現状はどうか。課題点で指摘されているのは何か。

教育長 見まもり隊は65名で活動している。メンバーの高齢化が課題となっている。

- いか …いかない
- の …のらない
- お …おお声を出す
- す …すぐ逃げる
- し …しらせる

問 消防団の充実強化を (施設・備品の充実を)

答 検討し、計画的な更新を考える



ます 和也
か ず や

一般質問

問 昨年の9月定例会で「町の生命・財産を守るうえで非常に大切な消防水利」について質問し1年が経過した、また10月12日の大河原町消防団消防演習を参観し気が付いた点が有ったので問う。

答 貯水量40トンに満たない防火水槽10カ所の協議検討の結果は。

町長 具体的に協議は行っていなかった。今後早めに協議する。

問 住宅地の無蓋の防火水槽は蚊等害虫が発生するのので有蓋にする考えはないか。

町長 緊急時の消化水源確保の可能性を確認しながら検討する。

問 金小裏の防火水槽を地下に防火水槽を設置し地上を駐車場と利用しては、との提案に対する検討結果は。

町長 消防水利の確保は消火栓で対応できることから、水槽を撤去・整地し職員の駐車場として利用する。

問 小型動力ポンプ積載車は最も古いもので、取得年が平成4年と20年以上経過しているが、買い替えの時期と思うがどうか。

町長 災害時における機動



▲演習の实地放水

問 婦人防火クラブの服装は割烹着である。法被等の被服の支給の要望はないのか、また消防団員の防寒服の支給の考えはないか。

町長 要望はない。防寒服は近隣市町の状況を確認し検討する。

問 法改正で公務員も入団できるが、当町の職員で何人が入団しているか。

力の確保、向上に向け計画的な更新を考えていく。
町長 現状はゼロである。

子育て世代へのインフルエンザ 予防接種助成を

問 子育て世代の経済的負担の軽減を考慮し未就学児から中学生に予防接種費用を助成する考えはないか。

町長 未就学児から中学2年生までは現在のところ助成は考えていない、中学3年生の費用助成については、来年度の実施に向け準備している。



やまざき 山崎 つよし 剛

問 地方創生への取り組みは

答 細部にわたり対応を急ぐ

法案では都道府県や市町村は、まち、ひと、仕事に関する目標や施策に関することが「総合戦略」として策定することが定められていることから、地域における人口減少の克服、地方創生につながるようとするものである。

問 再生エネルギー製造プラント建設の実現性はあるのか。

町長 計画が実現可能か調査するため、県の補助事業



▲地方創生セミナーが開催

を活用するもので平成27年3月まで調査を行う。結果をあらためて報告する。

問 まち、ひと、しごと創生は効果の高い政策と申すが町長の見解を伺う。

一般質問

町長 異変を察知した場合に、町に通報してもらおう内容の協定を民間企業と締結

問 高齢者を見守る基本ではあるが、新たな取り組みが必要と思うがどうか。

町長 町内に「子ども110番の家」があり登下校時の駆け込み寺があり、地域の皆さんの協力による「見まもり隊」の組織など、犯罪から子どもたちを守る仕組みを強化していく。

問 犯罪の抑止、捜索、心理的な安心感、そして防犯対策の充実、重要度につながる防犯カメラの設置を早急に検討すべきである。

町長 公の施設に設置している防犯カメラは54台。「子ども110番の家」や、民間企業との見守り協定をはじめ、長寿見守り隊の活動があり、現在防犯カメラを設置する予定はないが、今後、警察と連携を深めながら、安全・安心な暮らしができるまちづくりを目指す。

防犯カメラを設置すべき

問 児童の連れ去り事件が頻発している。通学路の安全は勿論だが、早期に解決できる対策は講じているか。

問 少子化対策、若い世代の就労、子育て、待機児童の解消を目指すプロジェクト

町長 国の政策に呼応し本町の特徴を生かして町の魅力と活力を高める総合戦力を策定し、人口減少に歯止めをかけた。

トチームを作る考えは。
町長 第10条に「まち、ひと、しごと創生総合戦略」を定めるよう規定されており、職員によるプロジェクトチームを作り取り組んでいく。

問 さくらっキーをPRに有効に活用すべき

答 事業の必要性や収益性を考慮しつつ、具体的方向性を見出す



さくま あき 佐久間 克明

一般質問

さくらっキーは大河原町の発信に絶大な効果がある。大河原町のブランド化を計るにあたり、さらに前面に押し出す必要がある。

問 国の緊急雇用補助金が終了する。商工観光課への影響と対応は。

町長 さくらっキーに関する事業は人件費を含め経費



▲さくらっキー♡グッズ

のほとんどに緊急雇用補助金を活用し観光物産協会への委託事業としてきた。運営を維持できる程度まで町の負担を増額したいが、全額分負担は難しい。

問 ご当地ナンバープレートは全国的に導入が進められ、観光振興と結び付けてゆるキャラなどを採用しているようだ。交付式などの

式典も桜祭りの時期に盛大に行うことで更に効果が上がると感じる。

町長 さくらっキーの絵柄

水道料金等の徴収状況と対応は

平成25年度決算において監査委員より、「上下水道の料金並びに使用料の高額滞納者（10万円以上）は前年度より7件増の78件。料金徴収に関して確実に事務処理を行うべき。特に営業のWater使用は厳しく対処してほしい」と意見があった。

問 平成26年度現在滞納額は現年度分、過年度分どれくらいか。

町長 現年度分1299万円、過年度分4549万円、合計5848万円。

町民学園の今後は

町民学園は素晴らしいものと考えている。ただし、拙速だったことは明白だ。

町長 当初対象候補にあがったが、参加者の確認が困難でポイント付加方法が確定できない。

問 今現状での町民の参加状況や反応はどうか。

町長 これまで21事業に約600名、延べ約1300名に参加いただいている。

問 ポイントは商品券との交換だが、商品券以外で考えられるものはないか。

町長 ポイント10個で町内の加盟店で使用できる500円のさくらカード会商品券と交換している。地元商店街の活性化にもなる。

問 町の一斉清掃などを対象事業に出来ないか。

《平成26年第3回定例会(11月)・第4回定例会(12月)議案等審議結果》

議決責任の明確化

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧																
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枅 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇		
物品購入契約の締結について(仙南夜間初期急患センター医療機器)	11/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例一部改正について	11/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(第5号)介護保険特別会計補正予算(第3号)公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)水道事業会計補正予算(第2号)	11/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デイサービスセンターふれあいホーム、福祉作業所さくら、駅前コミュニティセンター及び大河原駅前立体駐車場、体育施設に係る指定管理者の指定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集会所設置及び管理に関する条例の一部改正について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
敬老金支給条例の一部改正について	12/18	修正可決	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度大河原町一般会計補正予算(第6号)	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)国民健康保険特別会計補正予算(第1号)介護保険特別会計補正予算(第4号)公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)一般会計補正予算(第7号)	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書案	12/18	可決	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席、除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

請願と意見書

通学路、新東橋本一号线の時間帯規制に関する請願書

紹介議員 佐久間克明

新東橋本一号线は小山田・橋本・福田地区の児童、生徒の通学路になっている。しかしこの路線の幅員は4mしかなく車両同士がすれ違えない程狭く、通学時間帯は児童、生徒を危険にさらしている。よって児童生徒の安全安心確保の為に、通学時間帯における車両通行禁止について関係機関等への協議、調整を要望する。(総務文教常任委員会に付託)

安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書

提出者 万波 孝子

国民の命と暮らしを守る医療・介護現場は深刻な人手不足となっている。労働実態は依然として厳しくなっており、医師・看護師・介護職員の増員や夜勤改善を含む労働環境の改善は喫緊の課題。

議員研修会を開催

「議会改革のついで」

昨年の11月17日、大河原町議会主催による「議会改革について」の研修会が大河原町役場庁舎内で開催された。呼びかけに応じた近隣町議会の議員を含む約60名が参加した。講師は庫山恆輔氏(元仙台市民オンブズマン事務局長、宮城県地域自治研究所事務局長)で地方自治の調査・研究の第一人者である。

① 地方議会の監視機能・政

策立案機能の強化を求め続けた20数年の活動

② 議員特権にメスは入れられたか。

政務活動費、海外視察、費用弁償等。

③ 議論する議会に変わったか。徹底した調査と発言、議員同士の議論、政策提案等。

④ 町民参加は進んだか。傍聴しやすい環境づくり、請願の提案説明、町民との対話、休日・夜間議会の開催等

⑤ 議会を変える力

町民の不断の監視と評価の視点でこれまで仙台市民オンブズマンが取り組んできた県議会や仙台市議会の事例で海外視察や代表質問の問題点をズバリ指摘した。

議会基本条例を制定している大河原町議会は町民から信頼される議会改革に取り組む実践しているが、改善すべき点も見えた研修だ。地方政治を担う議員の使命を果たしていきたい。



▲議会が主体となった研修会を開催

緊張の議会傍聴

大河原小学校 6年1組 杉内 雅奈さん

この間は議会を見学させてくださり、本当にありがとうございました。議会の内容は高度で、町のことを思ってこのような議会を開いてくださっていることが分かり、感謝してもきれないくらいです。

その場で考えた質問や答えもたくさんあったようで、すごい議会でした。本当にありがとうございました。



大河原小学校 6年3組 小野 那茅さん

とても静かな空気でいろんな人と町のことを決めていました。

一番印象に残っていることは、質問している人と町長さんの意見の言い合いです。手を挙げどんどん答えを言いき、それに対してもどんどん意見を言っていく、迫力があってすごかったです。真剣に町のことを考えてくださっているんだなとありがたく思いました。

大河原小学校 6年2組 石本 翔真くん

この前は議会を見学させていただきありがとうございました。

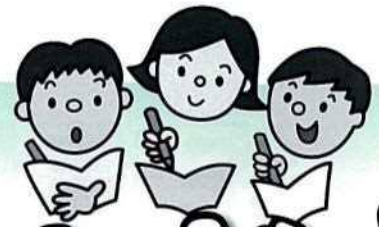
ものすごく真剣に話し合いをしていたのでびっくりしました。質問をしたらすぐに手を挙げて意見を話していたので、すごいなあと思っていました。

このことを生かしてこれからの社会の勉強をがんばっていきたいです。

12月16日・17日の二日間、授業の一環として町内すべての小学校（大河原小・南小・金ヶ瀬小）の6年生199名がクラス毎に本会議場での一般質問を傍聴しました。町執行部と議員の議論を緊張した表情で聞き入りたり、メモを取る様子は真剣で、我々議員もいつも以上に身の引き締まる思いで議会に臨みました。各小学校のクラス毎の感想を議会に寄せていただきましたので、一部を紹介いたします。

小学6年生、胸

ドキドキ



大河原南小学校 6年1組 鈴木 麻由さん

私は役場にこんな綺麗な部屋があるとは分らなかったし、テレビでしか見たことがなかったのでびっくりしました。

みんな真剣で大河原町のためにがんばっているのだと分かりました。私も町のために何かできることがあれば、やれる大人になりたいです。これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。

大河原小学校 6年5組 葛西 陽希くん

議会は役場にあると思わなかったけど、役場にあつてびっくりした。何をしゃべっているかわからないと思ったけど、しっかり聞きとれた。町民の税金を減らすための話し合いをしていて、水道料金を聞いたりして面白かった。席が多くて、でも人がいない席もあってふしぎに思った。



金ヶ瀬小学校 6年1組 大村 暖奈さん

思ったより質問者も答弁者も早口で、時々何を言っているのかおぼえるのも大変でした。でも、ためになったのでもう一度議会を見学したいです。

防災無線等の設置費用が3,000万などにも驚きました。農業と稲作の火山灰についての規制も厳しいと分かりました。

視察来庁

群馬県吉岡町議会

平成26年11月6日、吉岡町議会、議会運営委員の皆さんが「議会運営について」行政視察に来庁されました。政務活動費や通年議会制等、議会運営や、議会改革について意見交換を行いました。

栃木県那珂川町議会

平成26年11月10日、那珂川町議会の皆さん15名が「議会改革について」行政視察に来庁されました。議会改革の経緯等、開かれた議会づくりの取り組みや、継続的な議会改革を行う上での必要な事等について意見交換を行いました。



先進地に学ぶ 常任委員会 視察研修



▲わずかなことから始めようスモールチェンジ

総務文教常任委員会

スモールチェンジ事業

【埼玉県ときがわ町】

国民健康保険や介護保険の費用の増大による保険料高騰が懸念されたことから、平成24年より継続する健康づくり事業として町と町民、地域が一体となって活動を展開している。平成26年度予算額で271万5000円である。

カードを全戸発行し、健康啓発事業等に参加することでポイントを貯め、啓発グッズとの交換、または町内協賛店での割引等を受けられる。

対象事業として健康検査、保健センター主催セミナー、町の重点施策等がある。ポイントを商品券にせず、啓発グッズ交換とすることでロゴの拡散によるブランド化の定着や、メディアからの注目が期待される。

子ども医療費の取り組み

【埼玉県滑川町】

少子化対策として、「滑川町子ども医療費支給事業」を展開している。平成20年から国や県制度で小学校終了前児童を対象としていた年齢を中学校終了前までの児童に拡大。平成23年から18歳を迎えた最初の3月31日までにいる児童を対象年齢を拡大している。子育て世代への負担を軽減する施策の一つであり、現在は若年層の定住化を目指している。町のゼロ歳から18歳は3140名。うち高校生408名となっている。

産業建設常任委員会

農業振興の取り組み

【茨城県笠間市】

笠間市は首都圏より100km圏内に位置し、農業の現状としては産出額が79億9000万円となっており、耕種対畜産の割合が6対4で比較的畜産比率が高いのが特徴。あらゆる農産物が栽培できる好条件の地だが、知名度のある農産物がなかったことから平成22年より農産物ブランド化事業を行い、現在で35品目の加工品を特産物としている。また関東圏で一番に宿泊施設付き市民農園を開設。施設内では資材収納庫、農機具無料貸し出し、発動機付機械の燃料も含め無料、施設年間使用料40万円に含まれるとのこと。

自転車のまち

宇都宮推進事業

【栃木県宇都宮市】

環境、健康、スポーツ環境活動の充実、観光資源の活用推進を柱とした自転車の町推進計画を立てて、「自転車のまち宇都宮」の実現

に向けた事業に取り組んでいる。推進計画の期間は平成23年度から平成27年度とし、10年後を見据えた5年間の実行計画で推進を図っている。計画の基本方針として交通手段の利便性を高めること、自転車でもちの魅力を高めることを掲げている。事業内容としては、自転車走行空間の整備、駅前やバス停付近での駐輪場整備、観光推進として、観光レンタサイクルの導入、自転車マップの作成等がある。



▲「走れば愉快だ宇都宮」宮サイクルステーション

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

子ども医療費の拡充を



▲子ども医療費の無料化が拡充

提言

子どもたちの生命を守り、健やかに成長することを広く保証していく上で、中学校3年生までの医療費の無料化を実施してはどうか。

平成25年
9月

平成26年
4月

追跡結果

解決

26年4月1日より中学校3年生までのすべての医療費が無料となった。しかし町長公約では18歳までの無料化を打ち出したので更なる充実が求められる。

主要県道の早期整備を



▲道幅が狭く危険が多い上大谷地区

提言

主要県道白石柴田線は南小学校の通学路となっているにもかかわらず、何ら対策がなされない。年々通行量が増えている。拡幅、改修を強く望む。

平成15年3月
平成25年6月

平成27年
1月現在

追跡結果

未解決

現在さくら大橋と連結する一部分が広くなっただけで、車両のすれ違いの際の危険回避、歩行者、自転車の安全対策も遅れている。継続して強く改善の要望をしていく。

こんな町に住みたいな



大河原小
佐藤 駿作



大河原小
及川 亜美

地域の人の優しさや子どもたちの元気で明るいあいさつなど、この大河原町には自慢できることがたくさんあります。

その中で一番の自慢は一目千本桜です。春にきれいな桜が咲き、大河原にたくさんのお客さんが訪れ、賑やかにになります。

大河原が季節を問わずにいつも賑わうのがぼくの夢です。他の県や外国からたくさんの人たちが訪れる楽しいテーマパークがあればいいと思います。

年中賑わい、活気のある大河原町を僕たちがつくり上げることができるよう頑張りたいです。

気持ちの良いあいさつが飛び交う大好きな大河原町を、より良い町にするために提案があります。

一つ目は、ゴミの無い美しい町をつくることです。桜まつりや花火大会の時に、ゴミが落ちていなければ、来た人たちも、気持ち良く過ごせると思います。

二つ目は、町内のイベントを増やすということです。地域の人々との関わり合いを増やすことで、もつと大河原町が元気になっていくと思います。

私も、この大河原を支えている町民として、元気できれいな町になるように一杯頑張りたいと思います。

3月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 3月4日(水)・再開日 3月10日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど

ワンショット



本町中町商店街から繁昌院の参道入り口の片隅に小さなかわいいなでなでお地蔵さまが立っている。気付かず通り過ぎ

てはいませんか。合掌するだけで心が落ち着き和みます。感謝の心を忘れずにいたいものです。



今回の表紙は



どうして「団子さし(小正月の行事)」をやるのかな。いわれについては「豊作祈願」「家繁栄」「豊かな生活」の願いが込められているそうです。

先生の声に聞き入っていた園児たち。家族みんなの一年の健康安全を祈りながら、一生懸命飾りつけをしました。

編集後記



年が明けやつと年号を記載する際、27と間違わずに書けるようになった今日、写真撮影のために保育所へお邪魔しました。「団子さし」の行事。先生から由来を説明され、耳を傾けながらも無邪気に飾りつけを楽しみむ子どもたち。由来を理解するのはもつと大きくなってから。そう感じた時に改めて「この子たちが将来を担う頃の大河原町は」と重責を感じました。

議員として2年が過ぎようとしています。子どもたちから今日も学びを得ました。町民の皆様から、参画したいと感じてもらえる広報づくりに努めてまいります。
 (佐久間克明)

編集発行責任者

議会広報編集特別委員

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 秋山 昇 |
| 委員長 | 岡崎 隆 |
| 副委員長 | 佐久間克明 |
| 委員 | 万波 孝子 |
| | 高橋 芳男 |
| | 大沼 忠弘 |
| | 須藤 慎 |